



仕事を通して一番幸せにしたい人は誰ですか？

もちろん依頼者です。依頼内容の多くは依頼者に負のオーラを帯びさせるものです。弁護士が役に立っているのは、依頼者の心の重荷を少しでも軽くすることだと考えているのですが、お互いの利益が相反する場合も多いので、単純に依頼者のことだけではなく、お互いのまた時には相手方への配慮も必要になります。弁護士に相談される方は全て何らかの悩みを抱えています。それを少しでも軽くすることが弁護士の仕事であることは、弁護士登録後一貫して感じています。

ように考えています。私たちは皆、家庭のことや借金問題、経営者であれば会社の経営状況や労働者との関係など、様々な悩みを抱えています。専門家に相談するだけで気持ちが軽くなった時、時にはすぐに解決することも多いです。もつと気軽に弁護士に相談をして欲しいと思います。

それは何故ですか？

弁護士が取り扱う案件では、どちらかの言い分が100%正しいということは稀で双方の言い分にそれぞれに認めるべき点があることがほとんどです。特に離婚の案件等、家庭の案件に多いのですが、こちらの主張を全て通すことが相手方やお子さんの生活に致命的な影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、事案全体のことを見極めて何がベストかを考えないとこの仕事はつとまらないと思っています。

ていたり、仕事柄時には恨みを持たれたりすることもありますので、私たち弁護士も気付かないうちに色々なものに少しずつ侵蝕されていきます。これはどんな仕事でも同じかとは思いますが、特に弁護士の仕事の場合は自分を保つことは非常に大切だと感じています。

私の場合は気分転換として身体を動かすよう心がけています。ランニングはもう15年以上続けていますしボクシングジムに通っていた時期もありました。最近ではヨガにもはまっていて。司法試験の受験時代からずっと思っていることですが、脳と身体は密接に関連していると感じています。運動をしないという選択肢は私にはありません。あとはイールサルトでスーツを買うことですね(笑)

お客様から聞いた嬉しい声やお客様の幸せエピソードがあれば教えてください！

弁護士1年目に初めて受任した刑事事件の依頼者です。執行猶予期間中に覚せい剤を使用してしまった案件です。結果的に実刑判決を受けたのですが、刑務所から直筆で感謝の手紙をもらいました。1年目で何も分からない中がむしろに動いた点に感謝していただいたのだと思います。私ももともとお金儲けがメインではなく(できる範囲で)純粋に依頼者の役に立ちたいと考えて弁護士になりました。これこそ営業的な利益を考えない仕事の成果だったと思います。

また、知人の友人に対し強制的にわいせつ行為をしたとして損害賠償を請求されたという男性から相談を受けたことがあります。世間的にそういう案件においては、女性の言い分有りきで判断されることが多いですが、私は極力フラットな目線で事案を見るよう心がけています。その方からは「最後まで信じて下さって有難うございます」との言葉をいただきました。

又残業代請求の案件では依頼者が相手方の会社社長と一切直接交渉無しに一括で109万円の残業代を獲得したことがあります。依頼者は具体的な残

業代がいくらになるのかも分からない上に、新会社での仕事が忙しいので自分で請求するのは難しく退職した会社の社長と直接交渉もしたくない状況でした。様々な交渉をした結果全額の一括払いを認めてもらったのですが、依頼者の方からはこんな感謝の声を頂きました。「牧法律会計事務所」に依頼したおかげで、安心して新会社での仕事に集中できました。また相談後すぐに動いていただいたので、自分で考えていたよりもずっと早く手元にお金が入りました。自分1人ではこんなにすぐに満足のいく金額が回収できなかったと思います。本当に感謝しています。」

仕事を通してどう在りたいですか？

常に胸を張っていたいですね。もちろんその時点で出来る限界があるのですが、常にベストを尽くしているという自負をしたいと思います。そのためには常に必要な準備が必要だと考えます。

弁護士の仕事を通して世の中にどう貢献したいのか？と聞かれると現段階では即答出来ないのですが、これから知識と経験を積んで今よりももっと解決の選択肢を増やし、その中から自信を持って依頼者の方に提案できる弁護士になりたいですね。



牧法律会計事務所

大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル708号
(淀屋橋駅7番出口より徒歩1分)
TEL/06-4708-5056 FAX/050-3730-0994
URL/http://www.mklaw-acc.com/
MAIL/maki.naoto@mklaw-acc.com